

# 2025年3月期決算説明資料

---



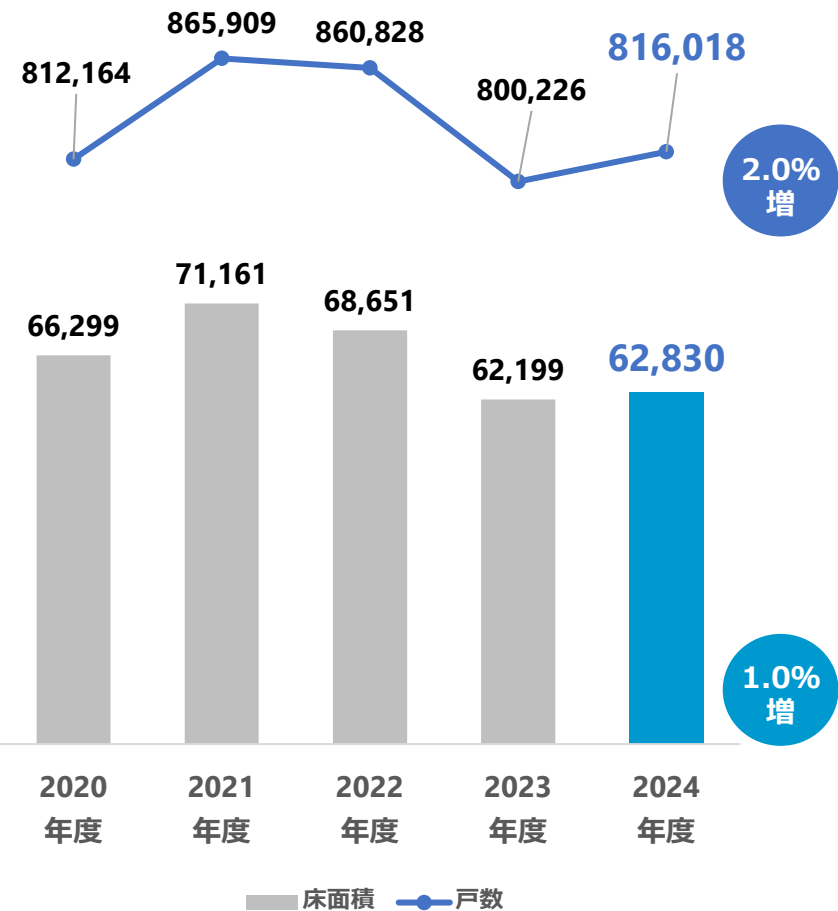
2025年5月13日

経営戦略本部 広報・IR推進室

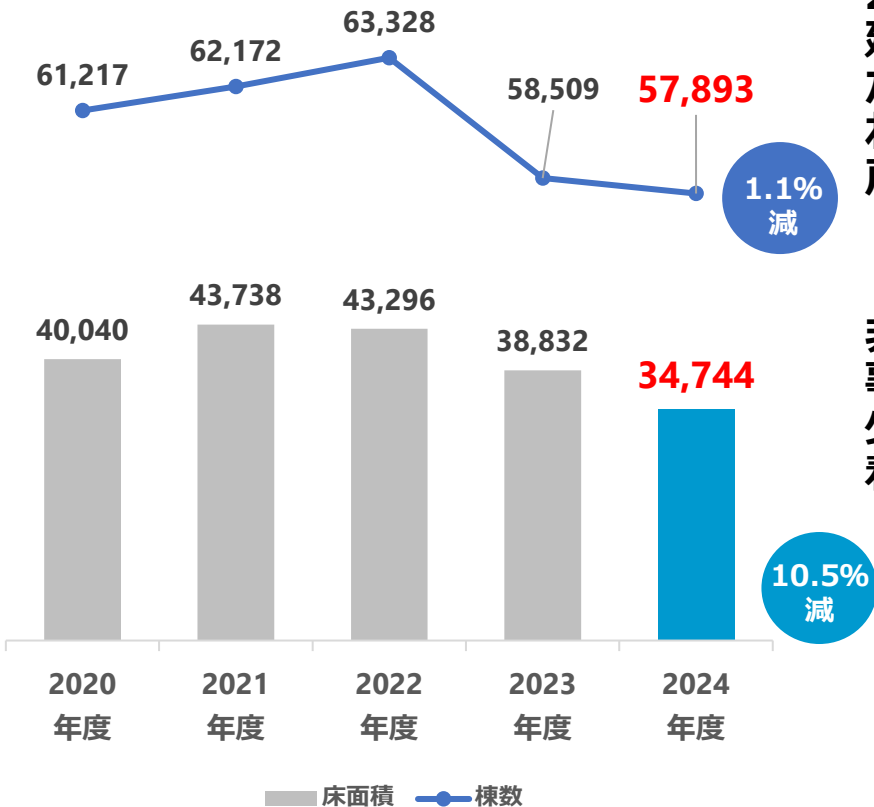
地球を、クマなく想う。 — 未来の地球を想い、今わたしたちにできることを考える。 —

# 新設住宅・民間非居住建物着工数推移

新設住宅着工戸数 (単位：戸、千㎡)



民間非居住建物着工数 (単位：棟、千㎡)



2025年4月の建築基準法・建築物省エネ法改正を前にした駆け込み需要が3月に見られ、2024年度新設住宅着工戸数・床面積 共に

前期比 増加

非住宅建築分野においては、事務所、工場および倉庫の減少がみられ、民間非居住建物着工数、床面積 共に

前期比 減少

# ナフサ価格推移



# 連結決算の概要

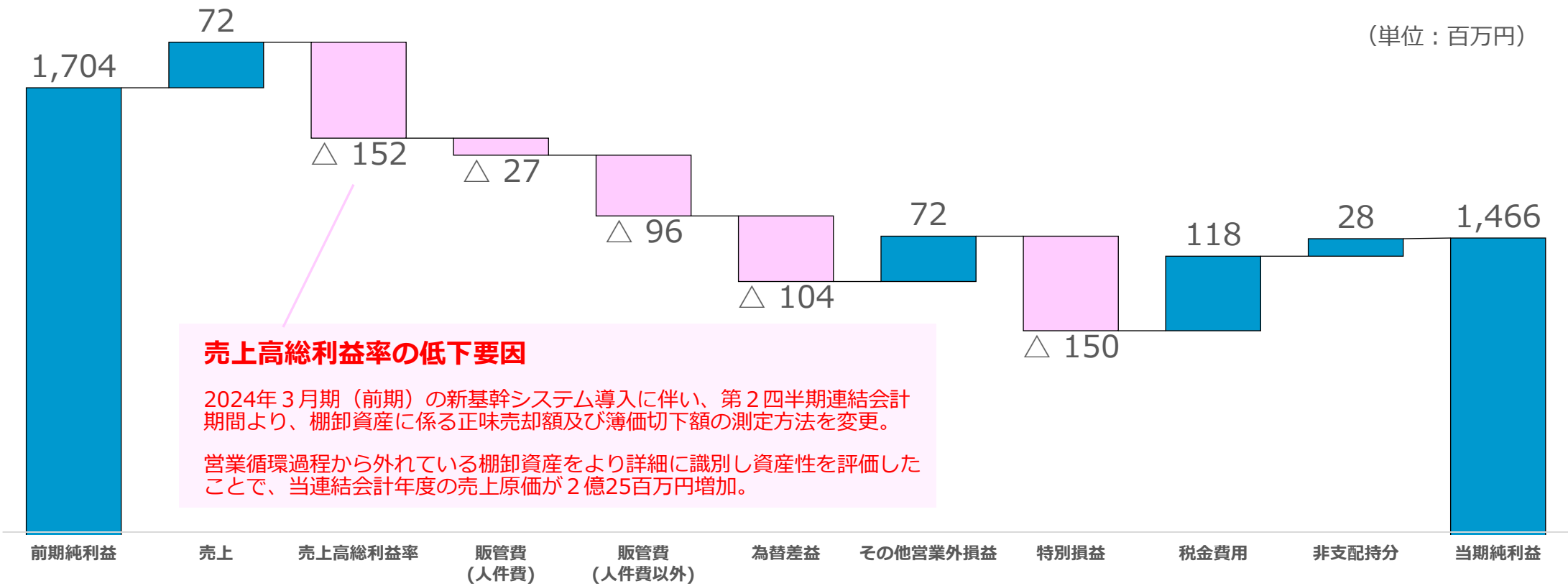
| (百万円)                           | 2024年<br>3月期    | 2025年<br>3月期    | 差異               | 増減率          |
|---------------------------------|-----------------|-----------------|------------------|--------------|
| 売上高                             | 39,735          | 39,973          | 237              | 0.6%         |
| 営業利益<br>(営業利益率)                 | 1,753<br>(4.4%) | 1,550<br>(3.9%) | △ 203<br>(△0.5%) | △ 11.6%<br>－ |
| 経常利益<br>(経常利益率)                 | 2,117<br>(5.3%) | 1,882<br>(4.7%) | △ 235<br>(△0.6%) | △ 11.1%<br>－ |
| 親会社株主に帰属<br>する当期純利益<br>(当期純利益率) | 1,704<br>(4.3%) | 1,466<br>(3.7%) | △ 239<br>(△0.6%) | △ 14.0%<br>－ |

断熱関連製品の伸長に加え、住宅関連分野以外の復調と、新規分野の開拓が進んだことから、売上高は**前期比0.6%の増収**。

利益面については、営業利益、経常利益、親会社に帰属する当期純利益ともに**前期比減**。

# 連結純利益前年比較

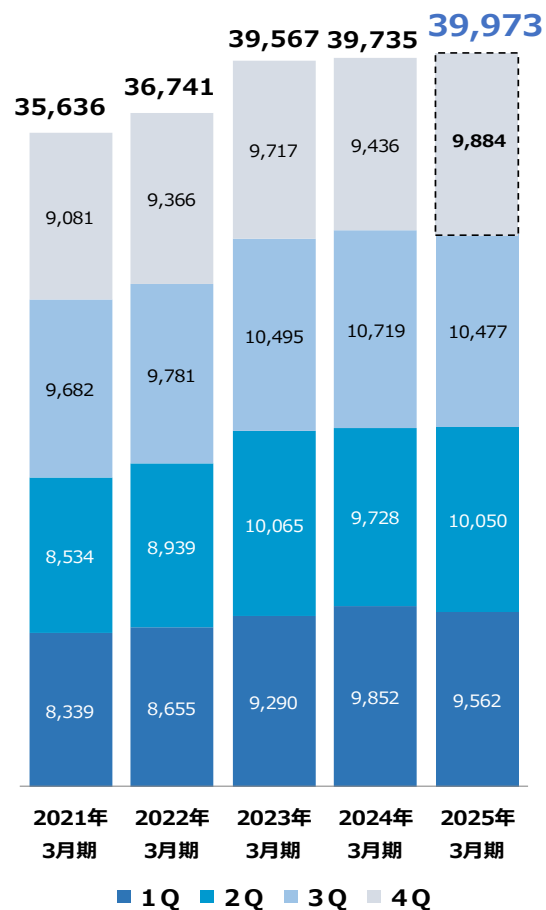
- ▶ 売上総利益：売上が前期比237百万円（0.6%）増加したことにより、72百万円増加
- ▶ 売上高総利益率：前期比0.4%低下したことにより、152百万円売上総利益が減少
- ▶ 販管費：前期比123百万円（主に人件費、減価償却費）の増加
- ▶ 特別損益：投資有価証券売却益213百万円、製品補償費を83百万円計上 ※前期は退職給付信託返還益が264百万円



# 連結業績の推移

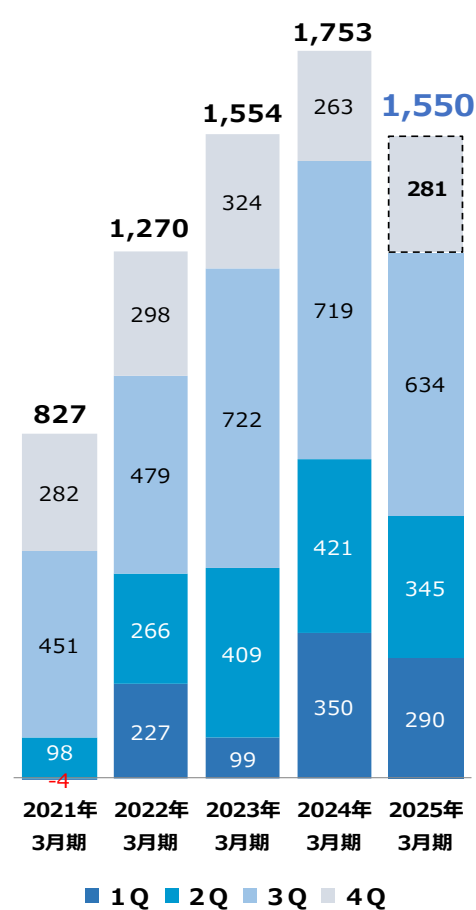
## 売上高推移

(百万円)



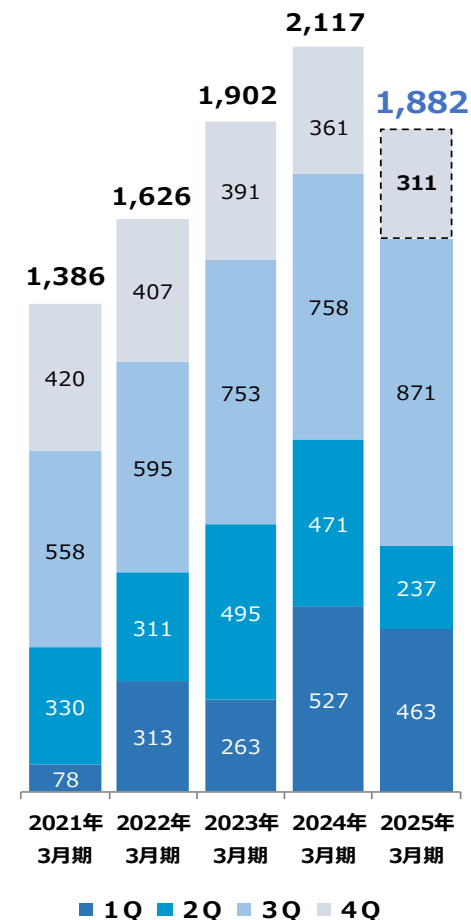
## 営業利益推移

(百万円)



## 経常利益推移

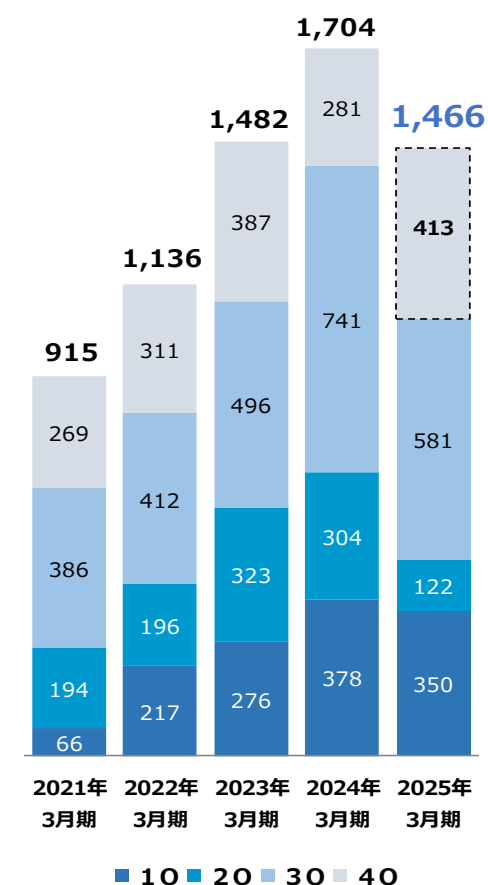
(百万円)



## 親会社株主に帰属する

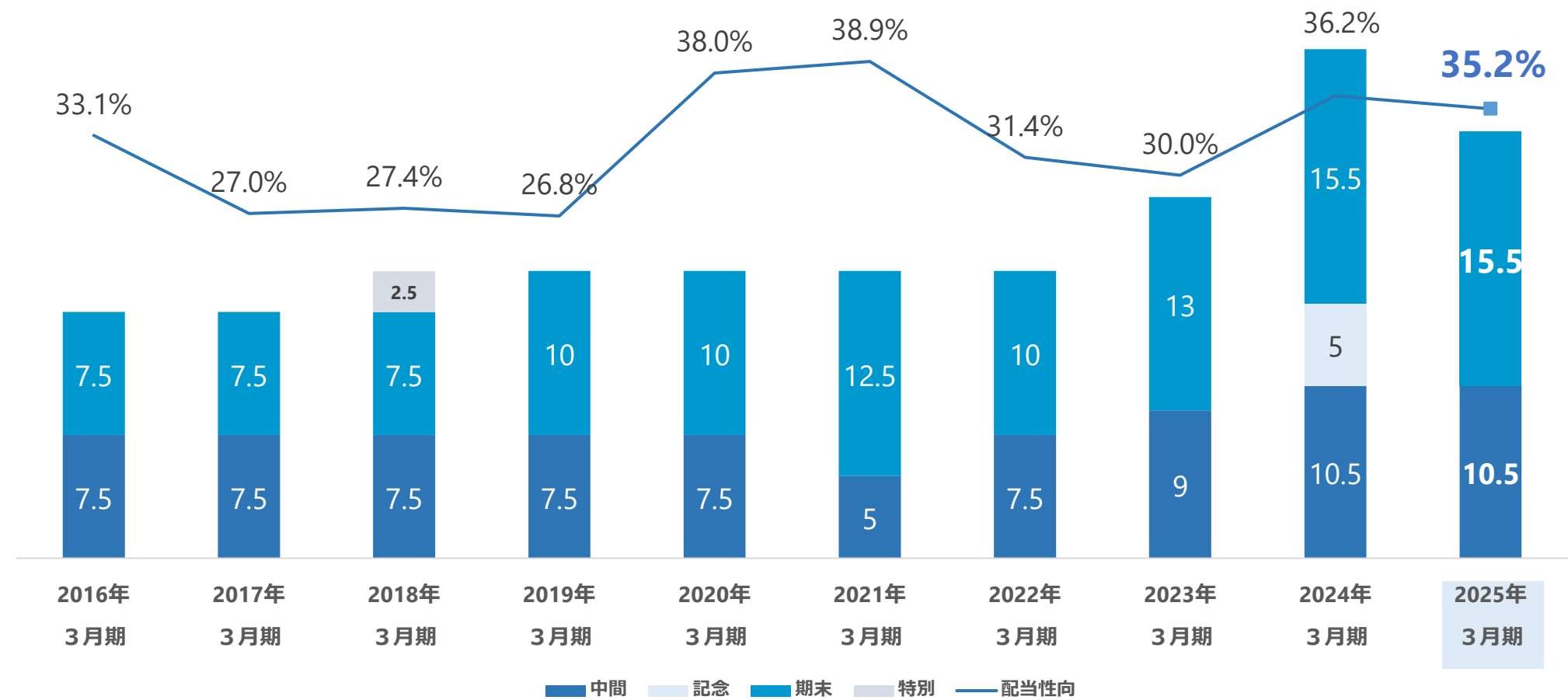
## 当期純利益推移

(百万円)



# 配当の推移

- ▶ 直近に公表されている配当予想から修正なし
- ▶ 2025年3月期配当（予想）：年間配当金 26円00銭（配当性向35.2%）



# セグメント別の連結売上状況

| セグメントの名称   | 売上高<br>(百万円) | 構成比    | 事業概況                                                                                                                                                                                                                          |
|------------|--------------|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 建材事業       | 25,932       | 64.8%  | 住宅分野では、新築、リフォーム問わず求められる高断熱化に対応した高性能断熱材『フェノバボード』が堅調に推移。一方で、持ち家・分譲戸建の大幅着工減という市場環境から、汎用品は売上が減少。非住宅分野では、工場・倉庫向け商品群「PLANTOOL」が売上高前年比55%増と好調な伸びを示す。「ETHICAL DESIGN WEEK TOKYO2024」をはじめとした展示会へ出展し、環境配慮型商品ブランド「Fukuvalue」のプロモーションを強化。 |
| CSE事業      | 10,059       | 25.2%  | 建築資材系OEM品は新設住宅着工の低迷の影響を受けるも、顧客の課題解決に向けた新規スペックインの提案が功を奏し、厳しい市場環境の中でも前年並みの売上を確保。また、非建築資材系OEM品は、バスなどの大型車両向け部材が引き続き好調に推移したほか、業務用冷蔵庫向け部材や事務機器部材も順調となり、売上高前年比10%増と伸長。また、継続的な取り組みとして、新たに進出した領域における新規スペックイン強化が着実に成果を上げ、売上増に寄与。        |
| 精密事業       | 1,593        | 4.0%   | 主力の車載向け部材が自動車の減産や中国市場の販売不振という厳しい環境に直面したものの、この課題を乗り越えるべく車両以外の分野に積極的に取り組み、カメラやセンサー等の電子機器部材でのエンジニアリングセールスが大きな成果を上げ、その結果、車載向け部材の減少分をしっかりとカバーし、前年比34%増に売り上げを大きく伸ばす。                                                                |
| グローバル事業    | 3,462        | 8.7%   | 米国現法の建材ブランド製品が一時的に伸び悩み、また、日本市場における需要低迷によりベトナム・タイの各現法の建材ビジネスも一時的に低調。このような環境下の中、ASEAN地域での建材販路拡大に向けた活動を積極的に推進し、販売チャネルの拡大に向けた基盤を強化。また、米国現法の車載OEM品は順調に売上を伸ばしており、今後さらなる販路拡大に向けた取り組みを強化。                                             |
| 報告セグメント計   | 41,044       | 102.7% |                                                                                                                                                                                                                               |
| その他の事業     | 109          | 0.3%   |                                                                                                                                                                                                                               |
| (調整額)      | △1,181       | △3.0%  |                                                                                                                                                                                                                               |
| 連結損益計算書計上額 | 39,973       | 100.0% |                                                                                                                                                                                                                               |



※ 調整額は、セグメント間取引消去によるもの。

# 連結貸借対照表

(単位：百万円)

| 区分 | 科目           | 2024年3月期 | 2025年3月期 | 増減      | 主な増減要因                    |
|----|--------------|----------|----------|---------|---------------------------|
|    | 流動資産         | 35,303   | 35,454   | 151     | 売上債権△2,560                |
|    | うち 現金及び預金    | 11,203   | 14,184   | 2,981   |                           |
|    | うち 棚卸資産      | 5,848    | 5,636    | △ 212   |                           |
|    | 固定資産         | 18,773   | 17,783   | △ 990   | 投資その他の資産△878              |
|    | うち 有形固定資産    | 8,361    | 8,256    | △ 105   |                           |
|    | うち 無形固定資産    | 800      | 794      | △ 6     |                           |
|    | 資産合計         | 54,076   | 53,237   | △ 839   |                           |
|    | 流動負債         | 14,229   | 13,394   | △ 835   | 仕入債務△800、未払費用△184         |
|    | うち 支払手形及び買掛金 | 10,299   | 5,568    | △ 4,731 |                           |
|    | うち 短期借入金     | 93       | 82       | △ 11    |                           |
|    | 固定負債         | 2,685    | 2,323    | △ 362   | 繰延税金負債△276、リース債務△114      |
|    | うち 長期借入金     | -        | 33       | 33      |                           |
|    | 負債合計         | 16,914   | 15,717   | △ 1,197 |                           |
|    | 純資産合計        | 37,162   | 37,520   | 358     | その他有価証券評価差額金△390、利益剰余金918 |
|    | うち 非支配株主持分   | 831      | 924      | 93      |                           |
|    | 負債純資産合計      | 54,076   | 53,237   | △ 839   |                           |

2025年3月期  
自己資本  
36,595百万円

自己資本比率  
68.7%

# 連結損益計算書

(単位：百万円)

| 科目              | 2024年3月期 | 2025年3月期 | 増減    |
|-----------------|----------|----------|-------|
| 売上高             | 39,735   | 39,973   | 237   |
| 売上原価            | 27,667   | 27,984   | 317   |
| 売上総利益           | 12,069   | 11,989   | △ 80  |
| 販売費及び一般管理費      | 10,316   | 10,439   | 123   |
| 営業利益            | 1,753    | 1,550    | △ 203 |
| 営業外収益           | 423      | 380      | △ 43  |
| 営業外費用           | 59       | 48       | △ 11  |
| 経常利益            | 2,117    | 1,882    | △ 235 |
| 特別利益            | 307      | 255      | △ 52  |
| 特別損失            | 26       | 124      | 98    |
| 法人税等            | 601      | 482      | △ 118 |
| 当期純利益           | 1,798    | 1,531    | △ 267 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1,704    | 1,466    | △ 239 |

# 連結キャッシュフロー計算書

(単位：百万円)

| (単位：百万円)              | 2024年3月期 | 2025年3月期 |
|-----------------------|----------|----------|
| 営業活動によるキャッシュフロー       | 795      | 4,435    |
| うち 税金等調整前当期純利益        | 2,398    | 2,013    |
| うち 減価償却費              | 1,253    | 1,343    |
| うち 賞与引当金の増減額          | 83       | △8       |
| うち 売上債権及び契約資産の増減額     | △1,639   | 2,587    |
| うち 法人税等支払額            | △637     | △430     |
| 投資活動によるキャッシュフロー       | △817     | △381     |
| うち 有形固定資産の取得による支出     | △771     | △793     |
| うち 投資有価証券の売却及び償還による収入 | 18       | 661      |
| 財務活動によるキャッシュフロー       | △978     | △1,151   |
| うち リース債権の返済による支出      | △324     | △352     |
| うち 配当金の支払額            | △567     | △519     |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額      | 85       | 78       |
| 現金及び現金同等物の増減額         | △915     | 2,981    |
| 現金及び現金同等物の期末残高        | 11,203   | 14,184   |
| フリーキャッシュフロー           | △22 ※    | 4,054    |

営業活動による  
キャッシュフロー  
4,435百万円

現金及び現金同等物  
2024年3月期末から  
2,981百万円増

# 2025年3月期4Qのトピックス

世界に誇れる優れた企業を紹介する番組

**メディア** テレビ東京系列「知られざるガリバー」で  
当社が紹介されました（2025年1月）



**成長戦略** 資本コストや株価を意識した経営にむけて

**「企業価値向上2030」を策定（2025年3月）**

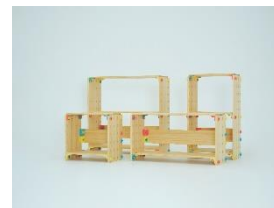
第7次中期経営計画を深化させ、持続的な企業価値向上を目指すべく、2030年度までの成長構想を策定しました。

この成長構想では、成長戦略と財務戦略を両輪で進め、中計最終年度の2027年度でのROE 6 %以上、2030年度でのROE 8 %以上の実現を目指し、成長領域の拡大と収益力の強化を図るとともに、不採算部門の縮小等を実現し、ROEの向上につなげてまいります。

**新商品**

子どもの感性を刺激するDIY家具

**『FABLOCK』を発売（2025年3月）**



**新商品**

木質パネルを用いた置床システム

**『モクユカ』を4社共同開発（2025年2月）**

※ジャパン建材株式会社、株式会社ミヨシ産業、株式会社鳥取CLTとの共同開発



**FM福井で紹介**

# 2025年3月期4Qのトピックス

IR

「ジャパニーズインベスター誌」・宝印刷株式会社主催  
「個人投資家のための会社説明会 in 東京」  
に参加（2025年3月）



IR

当社へのご理解を深めていただくことを目的に  
「株主さま工場見学会」を実施（2025年3月）

サステナ  
ビリティ

(株)日本政策投資銀行による

**「DBJ環境格付」を取得（2025年2月）**

環境への配慮に対する取り組みが先進的であるという「DBJ環境格付」を取得し、これに基づく融資を受けました。当社は、第7次中期経営計画にて「ESGを中核に据えた事業運営」に取り組んでいます。今後も事業活動において環境、社会、ガバナンスの観点から、持続可能な社会の形成への貢献に努めてまいります。

人的資本

健康経営優良法人認定制度において（2025年3月）

**「健康経営優良法人2025」に認定**

健康経営優良法人認定制度とは、経済産業省・日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している企業等の法人を顕彰する制度です。2024年に続き、2年連続の認定となります。





本資料に記載されている業績予想や将来予測等は、リスクや不確定要因を含みます。実際の業績や結果は、様々な要因の変化により、記載の予想、計画、見通しとは大きく異なることがあります。

本資料に記載されている情報は、情報の提供を目的としたものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。

当該情報に基づいて被ったいかなる損害に関しても、その理由の如何に関わらず一切の責任を負うものではありません。

お問い合わせ先：経営戦略本部 広報・IR推進室 (0776-38-8415)